

セキュリティ・ミニキャンプin北陸2015

2015年9/26(土)～27(日)

会場:金沢大学サテライト・プラザ

応募締切 一般講座:2015年9月14日17時

専門講座:2015年8月31日17時

参加無料



2004年度より毎年夏(8月)に開催している「セキュリティ・キャンプ(全国大会)※1」は、若年層のセキュリティ意識の向上と優秀なセキュリティ人材の早期発掘と育成という当初の目的に沿って、これまで数多くの将来有望な人材を輩出してきており、セキュリティ業界に留まらず各方面から、高度なIT人材育成の有益なイベントとして認知されつつあります。

しかし、キャンプに参加できる人数は限られており、開催地も関東・関西地域に限定されていたことから、全国の人材に高度な知識や技術を習得する機会が十分に与えられているわけではありませんでした。

そこで、「セキュリティ・キャンプ(全国大会)」の開催に加え、若年層を対象とした情報セキュリティ人材育成に関心の高い地域の拠点においてセキュリティ・ミニキャンプを2013年より開催しています。今年3回目のセキュリティ・ミニキャンプは、北陸の石川県金沢市で開催します。皆様の積極的なご参加をお願いします。

※1「セキュリティ・キャンプ(全国大会)」とは、経済産業省共催、文部科学省後援のもと、セキュリティ・キャンプ実施協議会と独立行政法人情報処理推進機構が実施する、22歳以下の学生・生徒を対象としたコンピュータセキュリティを学ぶ合宿形式の講習会です。

開催概要

	9月26日 土曜日 (一般講座)	9月27日 日曜日 (専門講座)
日程	2015年9月26日(土)、27日(日)	
場所	金沢大学サテライト・プラザ集会室/講義室 920-0913 金沢市西町三番丁16番地 金沢市西町教育研修館内 http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_koho/satellite/	
定員	120名(一般講座のみの参加者先着順100名、専門講座参加者20名を合わせ120名とします)	20名 選考あり(専門講座参加希望の学生・生徒は一般講座の参加が必須となります。)
参加資格	どなたでも参加できます (学生、社会人、教職員、保護者等)	日本国内に居住する、2015年3月31日時点において25歳以下の大学院生・学生・生徒
主催	セキュリティ・キャンプ実施協議会、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)	
共催	経済産業省中部経済産業局、金沢大学、金沢工業大学、北陸先端科学技術大学院大学	
後援	総務省北陸総合通信局、石川県、金沢市、北陸経済連合会、北陸情報通信協議会、石川県情報システム工業会、北國新聞社	
費用	無料。ただし交通費や宿泊費、飲食代は自己負担でお願いいたします。	

募集要項（事前にご確認ください）

	一般講座	専門講座
参加条件	<ul style="list-style-type: none"> 誰でもご参加いただけます 	<ul style="list-style-type: none"> 一般講座、専門講座の両日に参加できること（交通費、宿泊費、飲食代は自己負担でお願いします） 日本国内に居住する、2016年3月31日時点において25歳以下の大学院生・学生・生徒（当日、学生証または年齢がわかるものをご提示いただけます） 団体行動のルールを守り、他の参加者と協調して参加できること コンピュータサイエンスに関する基礎知識を持っていること 演習で使用する下記条件のPCを持参できること。 <ul style="list-style-type: none"> - HDDに20GB程度の空き容量があること - Wi-Fiに接続可能なこと - 参加決定後にこちらから指示したソフトウェアをインストール可能なこと 別途定める「セキュリティ・ミニキャンプ in 北陸」実施規定を遵守できること 申込時点で20歳未満の方は、参加について保護者の同意を得られること（参加決定時に保護者の同意書を提出していただきます） 過去のセキュリティ・キャンプ（2004～2007）、セキュリティ&プログラミングキャンプ（2008～2011）、セキュリティ・キャンプ中央大会2012～2013、全国大会2014～2015のどれにも参加していないこと（参加経験のある方は、申込をご遠慮ください）
申込方法	<p>以下の項目をE-mailまたはFAXにて送信してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 氏名（ふりがな） 性別 会社名または学校名 部署名または学科・学年 E-mailアドレス（確実に連絡がつくアドレス） 	<p>申込用紙に、以下の項目を入力の上、窓口までE-mailで送付してください。 氏名、ふりがな、性別、年齢、学校名、学科・学年、E-mailアドレス（確実に連絡がつくアドレス）、生年月日、住所、電話番号、質問事項の回答</p> <p>申込用紙のダウンロードはこちらから： http://www.security-camp.org/minicamp/hokuriku2015.html</p> <p>※申込用紙の記入事項、質問事項に不備があった場合には、受領されない場合がありますので注意してください。 ※申込の際には、必ずメールのタイトルを以下のとおりとし、申込用紙送信先のアドレス宛に送信してください。</p> <p>・タイトル：「セキュリティ・ミニキャンプin北陸参加申込」 ※申込された方には、窓口より「【受付完了】セキュリティ・ミニキャンプin北陸申込受領」というタイトルの確認メールを送信します。</p>
申込窓口	<p>セキュリティ・ミニキャンプ in 北陸申込窓口 Email : hokuriku@security-camp.org（申込後の連絡は、お問合せ窓口security-camp@lac.co.jpにお願いします）</p>	
申込締切	<p>9月14日(月)17:00必着 ※先着順のため満席になり次第締切ります。</p>	<p>8月31日(月) 17:00必着（17:00までに到着したものを有効とします）</p>
参加者決定のお知らせ	<p>受付完了通知にて参加決定とします。</p>	<p>厳正な審査の上、応募された方全員に9月3日までにメールまたは電話にて連絡いたします。</p>
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 申込者多数の場合には、参加できないことがあります。専門講座の参加者は、申込書の質問事項回答内容を審査の上、北陸地方の方を優先に選考します。 会場までの往復の交通機関や宿泊施設は必要に応じてご自身で手配してください。また、会場までの移動や宿泊の費用は自己負担でお願いいたします。 専門講座の参加が決定された方には、「セキュリティ・ミニキャンプ in 北陸」実施規定を遵守する旨の誓約書を提出していただきます。 ミニキャンプ期間中には、マスコミ各社による取材活動が行われることがあります。また、取材された結果が氏名・学校・顔写真を含んだ受講時の様子を含めて各メディアに掲載されることがありますので、ミニキャンプに申込される方はその旨事前にご確認ください。 ミニキャンプ開催後には、主催者ホームページにて「セキュリティ・ミニキャンプin 北陸」の開催報告をする予定ですが、その際参加者が写っている画像を掲載する可能性があります。キャンプに申込される方はその旨事前にご確認ください。 ミニキャンプの講義の様子は、キャンプ事業の広報活動や技術啓発を目的として撮影、録音し、その内容を公開する場合があります。 本事業の成果をはかることを目的として、ミニキャンプ参加後、参加者については参加者アンケートの提出を含めて、定期的にその後の活動状況についてフォローアップ調査（参加者は回答必須）させていただきます。参加を希望される方はその旨事前にご確認ください。 セキュリティ・ミニキャンプ in 北陸に参加した方でも、セキュリティ・キャンプ全国大会や他のミニキャンプの応募は可能です。 	

9月26日 土曜日（一般講座）

12:30	受付開始
13:00～13:10 (10分)	オープニング『北陸におけるセキュリティ・ミニキャンプ開催の趣旨について』
13:10～13:50 (40分)	基調講演『サイバーセキュリティ演習の動向』内閣サイバーセキュリティ補佐官 篠田陽一氏
13:50～14:30 (40分)	『あなたの身近に忍び寄るインターネットの脅威～情報セキュリティの必要性と実施すべき対策～』IPAセキュリティセンター研究員 石田淳一氏 年金機構の情報漏洩問題により、情報管理の重要性を改めて考えさせられた人も多いのではないのでしょうか。インターネットを毎日のように使用する私たちの生活では、様々な脅威が身近に存在しているのです。本講話では脅威の現状と実施すべき対策のポイントをわかりやすくご説明いたします。
14:30～14:40 (10分)	休憩
14:40～15:20 (40分)	『創って学ぶ、次世代Web時代のセキュリティ』株式会社jig.jp 代表取締役社長 福野 泰介氏 Web誕生から26年。ロンドン生まれの計算機科学者、ティム・バーナーズ＝リー氏によって発明されたWebは、オープンデータ、IoT、ウェアラブルによって新しい段階へと生まれ変わりつつある。人類誰もが経験したことがない社会におけるセキュリティーとは何か？ 正解がない中、決断する力をつける近道は、自らが創造者になることにある。
15:20～16:00 (40分)	『セキュアな認証システムの必要性～社会を支える安全なICTシステムの実現～』株式会社富士通北陸システムズ ソフトウェア事業本部 部長 滝口 成人氏 ICTシステムには様々なセキュリティ対策が必要ですが、その中でも“認証”は最も重要な対策の一つです。様々な認証方式とその技術や適用方法、さらに社会基盤に適用するための高品質かつ安全なシステムの開発プロセスについてお話しします。
16:00～16:10 (10分)	休憩
16:10～16:50 (40分)	『セキュリティ・キャンプの紹介&ネットワークの低レイヤーについて』坂井講師
16:50～17:20 (30分)	『ライトニングトーク』地元コミュニティ、キャンプ卒業生など
17:20～17:30 (10分)	クロージング
17:30	解散

スケジュール (続き)

9月27日 日曜日 (専門講座)

9:30~	受付
10:00~12:00 (120分)	演習Ⅰ『ツール自作で知るパケットとネットワークの仕組み』坂井講師 ネットワーク上を流れるパケットを直接読み書きして動作するツールを自作します。作成するのは簡易アナライザ、簡易ブリッジ、簡易ルーターなどです。 ツールの自作を通して、EthernetやIPルーティングの仕組みを学びます。LANコントローラは何をやっているのか、なぜIPアドレスは32ビットなのか、といったことを知ることができます。
12:00~13:00	昼休み
13:00~16:00 (180分)	演習Ⅱ『マイコンのGPIOでUDPパケットを生成する』今岡講師 AVRマイコンのGPIO端子のON/OFFでイーサネットの信号を生成しUDP/IPパケットを送信する、10BASE-Tの通信原理を物理層から理解します。 キーワード：AVR, マンチェスター符号, IEEE802.3, Ethernet, 10BASE-T
16:00 (15分)	クロージング
16:15	解散

講師プロフィール



篠田 陽一 (しのだ よういち)

北陸先端科学技術大学院大学 情報社会基盤研究センター 教授、内閣サイバーセキュリティ補佐官、情報環境、ネットワーク分散情報システム、ソフトウェア開発環境の研究に従事、工学博士。



石田 淳一 (いしだ じゅんいち)

情報セキュリティ分野において、営業、コンサルティングなど22年に渡り活動。(独)情報処理推進機構(IPA)の「5分でできる!中小企業のための情報セキュリティ自社診断」制作など、情報セキュリティ対策の普及啓発も行う。全国各地で実施する中小企業向けの情報セキュリティマネージメントコース講師、小中高生向けの情報モラル教室の講師も務める。著書に「専門家と弁護士が教える企業のための情報セキュリティ」などがある。



坂井 弘亮 (さかい ひろあき)

幼少の頃よりプログラミングに親しみ、趣味であらゆるアーキテクチャのアセンブラをフィーリングで読み解くということを行って以来、今ではC言語よりもアセンブラに触れている時間のほうが長い日も。組込みOS自作(KOZOS)、アセンブラ解析、イベントへの出展やセミナーでの発表などで活動中。ソフトウェアとハードウェアを繋ぐ位置に興味がある。趣味はものづくりともの書き。代表的な著書は「12ステップで作る組込みOS自作入門」「熱血!アセンブラ入門」セキュリティ・キャンプ講師(2010年~)SECCON実行委員アセンブラ短歌 六歌仙のひとり(白樺派)技術士(情報工学部門)。



今岡 通博 (いまおか みちひろ)

日本Androidの会、今岡工学事務所 松山市在住の個人事業主。2015年セキュリティ・キャンプ講師。今回皆さんと一緒に取り組むテーマは10BASE-Tのハードウェアレイヤーの話です。40年前からあるとても枯れた技術です。ですがLANの基本中の基本だと思っています。ソフトウェアで施すセキュリティはイーサネットコントローラから上位にある目線でしか対策が打てません。私のコースではこのコントローラの一部の機能をマイコンだけで実現することに挑戦します。ネットワークの更にディープな一面を垣間見る経験は、セキュリティ対策においてもさらに視野を広げられるのではないのでしょうか。私は今年53歳ですが、精神年齢は永遠の中二です。皆さんと会えるのを楽しみにしています。短い時間ですが一緒に有意義な時間を造っていきましょう。

セキュリティ・ミニキャンプin 北陸2015 問合せ窓口

セキュリティ・キャンプ実施協議会事務局

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-16-1 平河町森タワー 株式会社ラック内

TEL 03-6757-0196

FAX 03-6757-0112 Email security-camp@lac.co.jp